



第21回 Wリーグ

Women's Japan Basketball League

SEASON REPORT

2020年
一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ





事業報告 | 概要

2019年度の**Wリーグ**は第21回という新たなフェーズとなる大会でありましたが、新型コロナウイルスに代表される各事象により、従来通りの日程を消化することができないままシーズンが終了するという激動の年となりました。

10月の第2節においては台風19号の接近に伴い、神奈川県と山梨県の計5試合が中止に。12月に東京大田にて振替開催を実施しました。続いて、3x3における東京2020五輪出場権をかけたOQT大会との日程重複のため、プレーオフクォーターファイナルの日程および開催地を当初の秋田県秋田市から神奈川県平塚市に変更。しかしながら年明けより新型コロナウイルスの世界的な流行に伴い、レギュラーシーズンが第8節をもって終了となりました。その後、プレーオフからのリーグ再開をあらゆる形で模索しましたが、以降全ての試合を中止し、第21回シーズンは優勝チームなし、という結果に終わりました。

途中終了となったシーズンではあったものの、開幕戦では富士通が女王JX-ENEOSに土をつける波乱に始まり、トヨタ紡織が新人選手を大胆に起用し躍進。残り3節まで殆どのチームにプレーオフの進出の可能性が残るという近年稀に見る混戦だっただけに、どのチームにとっても非常に悔しさの残るシーズンだったに違いありません。

国際大会においては、シーズン開幕直前の2019年9月にインド・バンガロール市で行われた「FIBAアジアカップ」において見事4連覇を達成。続いて10月に中国・蘭州市にて開催された「FIBA 3x3 U23 ワールドカップ2019」では見事金メダルを獲得しました。2020年の東京オリンピックに向けて活気付く、大変嬉しい一年の幕開けとなったのですが、東京オリンピックは1年の延期となりました。

Wリーグでは「**LOVED W LEAGUE**」という新コンセプトのもと場内ビジュアルを一新。メディア訴求においては、数年ぶりにNHKによる開幕戦のLIVE中継が実現しました。昨年から放送を開始した**バスケットLIVE**では本年度より全試合の配信を開始。自社媒体の**W-TV**と合わせて多彩な情報発信が行える環境がさらに充実しました。

しかしながら、前述の通り、新型コロナウイルスの影響により、レギュラーシーズン3節36試合＋プレーオフ全試合が中止。その結果、総観客動員数は92,718人にとどまり、前年比は61.4%という厳しい数字に終わりました。1開催当たりの平均入場者数も、例年集客が見込めるプレーオフが全て中止になった影響が響き1,117人（※前年比92.4%）と目標としていたAVG1,300人を大きく下回る結果となりました。

コロナの一刻も早い終息を願いつつ、来たる第22回大会が無事に開幕できるよう粛々と準備を進めてまいります。



第21回 **W**リーグ SEASON REPORT

入場者状況

Women's Japan Basketball League

開催地分布／入場者数推移／入場者数ランキング

リーグ開催地分布

日本全国 **28** 都道府県 / (47都道府県) での試合開催を計画

● Wリーグの目的

女子バスケットボールをより広く国民に《普及》させること。
選手の技術向上、チーム《強化》に努め、内外にアピールすること。

→ **左記目的に基づき、
日本全国各地にて試合の開催を計画。**

第21回 Wリーグ (2019-20 Season)
開催計画地分布図



各チームのホームタウン以外でも数多く試合を実施し、
国内トップレベルのプレーの観戦機会を創出することで競技の普及に努めています。

しかしながら各チームによる、
集客・演出両方の側面からの「**ホームゲーム**」の充実や、
地方開催における**プロモーション力の強化**については、
リーグ全体の課題と捉え、引き続き取り組んでまいります。





入場者数推移

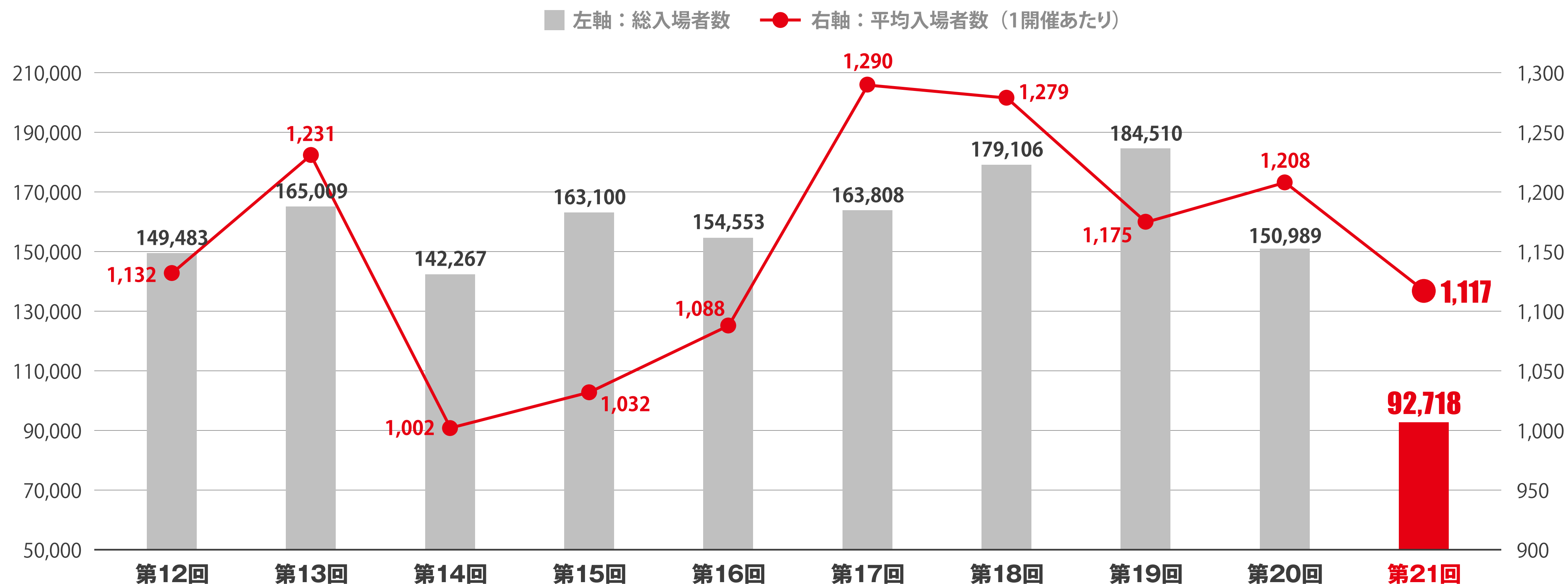
※第21回大会(2019-20 Season)終了時

総入場者数 **92,718人** →

新型コロナウイルスに伴い第9節以降のすべての試合を中止
試合数の前年比は**67.1%** (昨年143試合→96試合)
総入場者数の前年比は**61.4%**

平均入場者数 **1,117人** (前年比92.4%)

※1開催あたり



新型コロナウイルスに伴う試合数減により総入場者数は減少。平均入場者数も、例年集客が見込めるプレーオフ他の中止に伴い減少。
AVG1,300を目指したシーズンだったが厳しい結果となる。



開催別入場者数ランキング

※B.LEAGUE同時開催興行は除く

シーズン最多入場者数**3,118**人

2019年10月5日 Wリーグ開幕節2日目@大田区総合体育館

RANK	日付	会場	対戦カード	入場者数
1	2019/10/5	大田区総合体育館	JX-ENEOS vs 富士通、東京羽田 vs 山梨QB	3,118 人
2	2019/10/4	大田区総合体育館	JX-ENEOS vs 富士通、東京羽田 vs 山梨QB	3,059 人
3	2019/10/27	大田区総合体育館	東京羽田 vs JX-ENEOS	2,896 人
4	2019/10/5	ウイングアリーナ刈谷	デンソー vs 日立ハイテク、トヨタ紡織 vs トヨタ自動車	2,756人
5	2019/10/6	ウイングアリーナ刈谷	デンソー vs 日立ハイテク、トヨタ紡織 vs トヨタ自動車	2,734人
6	2019/12/7	佐世保市体育文化館	トヨタ自動車 vs シャンソン	1,954人
7	2019/10/26	横浜文化体育館	富士通 vs シャンソン	1,909人
8	2019/12/15	堺市金岡公園体育館	JX-ENEOS vs 日立ハイテク、トヨタ紡織 vs アイシンAW	1,831人
9	2019/10/27	大牟田市民体育館	日立ハイテク vs 新潟	1,821人
10	2019/10/27	名古屋市東スポーツセンター	三菱電機 vs トヨタ自動車	1,798人
参考	2020/1/19	アリーナ立川立飛	Wリーグオールスター	2,479 人

第21回 **W**リーグ SEASON REPORT

ネット視聴・SNS

Women's Japan Basketball League

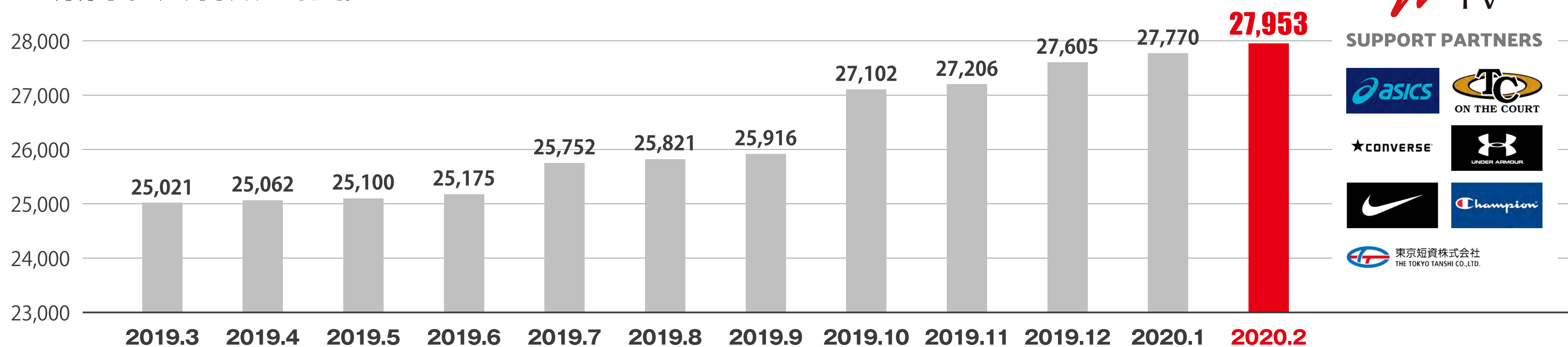
W-TV加入者／SNSフォロワー

W-TV加入者

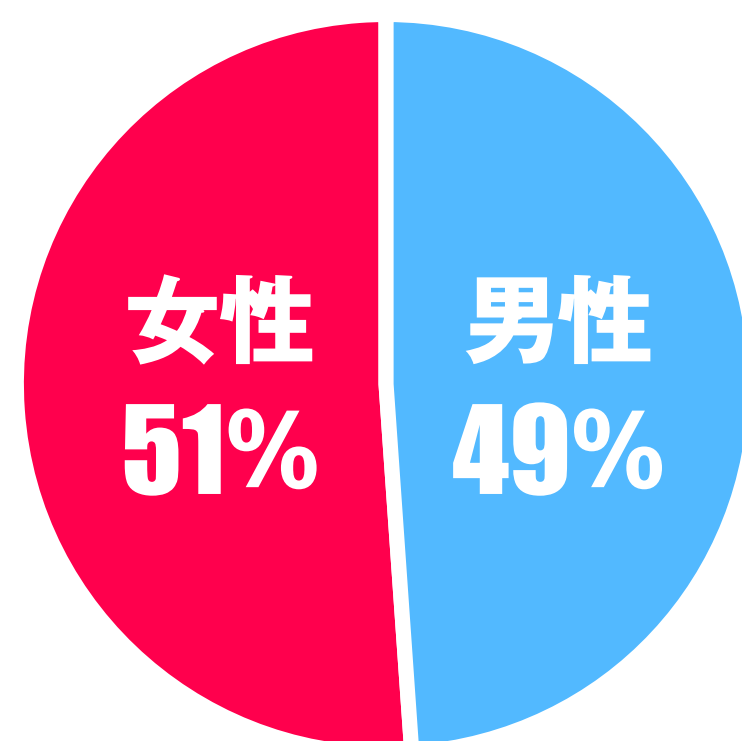
1年間で約3000人増加

(第20回大会終了時 約25,000人、第21回大会終了時 約28,000人)

● 累計加入者数の推移

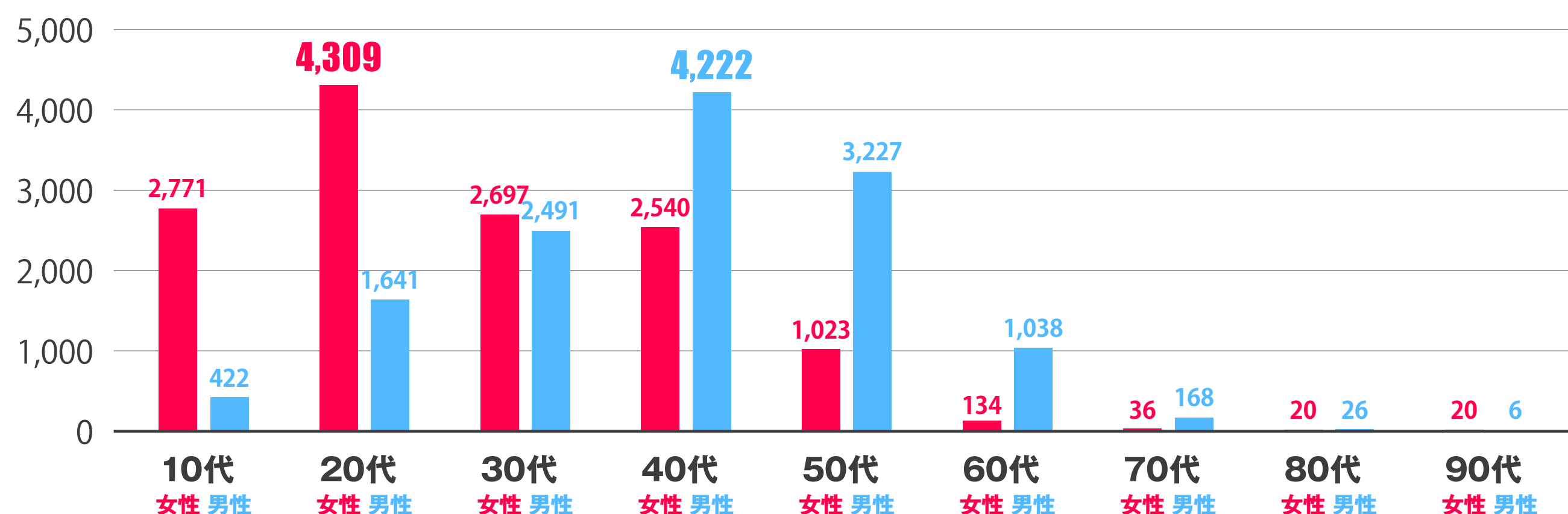


● 加入者の男女比



男性 13,657人
女性 14,242人
登録なし 54人

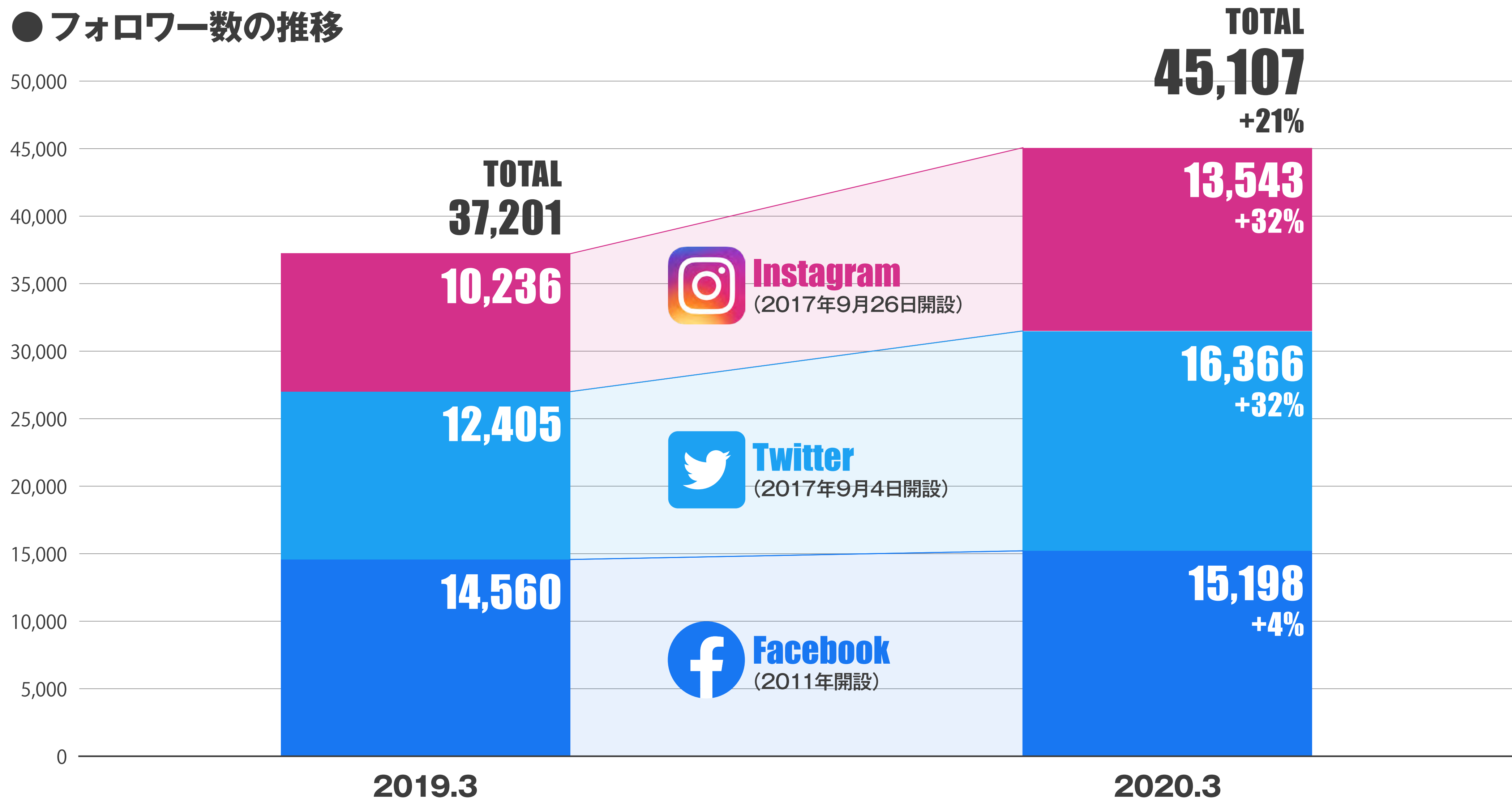
● 加入者の年齢構成



SNSフォロワー

1年間で**21%**増加 (各SNS合計) → 底辺の拡大が今後の課題

● フォロワー数の推移



第21回 **W**リーグ SEASON REPORT

TOPICS

Women's Japan Basketball League

シーズン開幕戦／オールスター



第21回 Wリーグ SEASON REPORT



シーズン開幕戦大田大会／両日とも3,000名超が来場

● 放映実績



バスケットLIVE



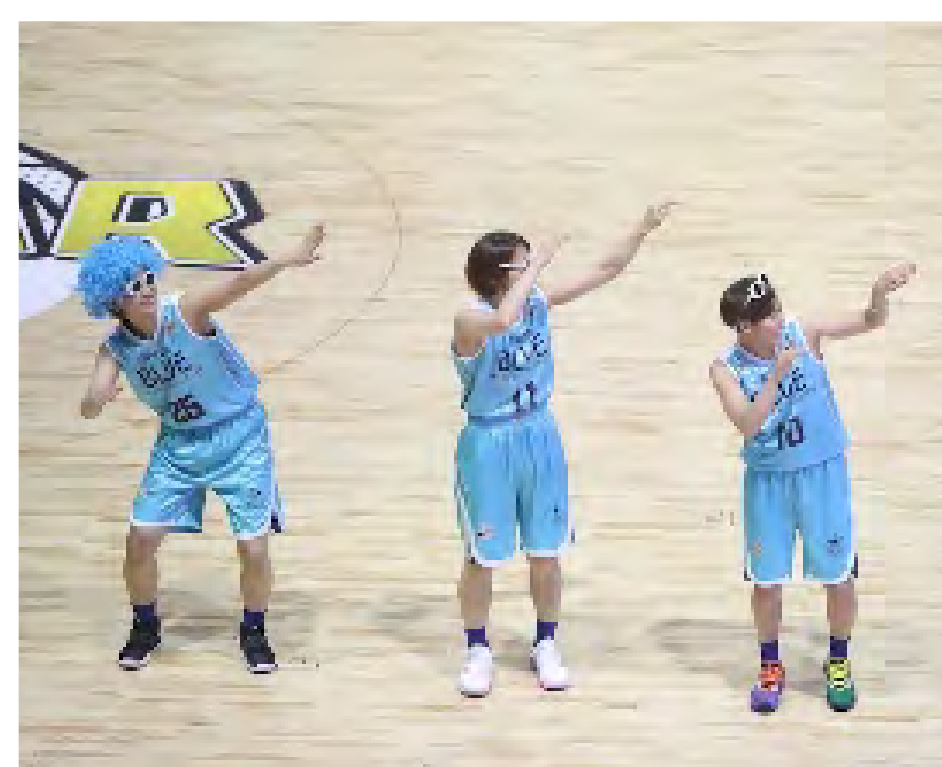


第21回 Wリーグ SEASON REPORT



オールスター@立川／本年も様々なイベントで大盛況

● 放映実績 **BS-TBS** バスケット**LIVE** **W-TV**





第21回Wリーグ(2019-2020シーズン)終了

たくさんのご声援、誠にありがとうございました



第21回 Wリーグ SEASON REPORT
Women's Japan Basketball League